

はばたき

上中学校図書館通信

2023.4月号

学校司書 松石かおる

1年生のみなさん、入学おめでとうございます。2,3年生のみなさん、進級おめでとうございます。毎月この「はばたき」で、図書館に入った新しい本の紹介や、図書館からのお知らせを連絡します。三者懇談期間中は、保護者の方々にも図書館の本を借りて頂けるように計画しています。ぜひ、中学校の図書館の様子を見に来てください。

4/23は「子ども読書の日」、4/23～5/12は「こどもの読書週間」です。

今年度の「こどもの読書週間」の標語は、「ひらいてとじた 笑顔がふえた」です。本を開いて、笑顔がふえたら、こんなにうれしいことはありません。本の世界を想像することは、自分以外の人や世界を思いやることにもつながります。みなさんにとって、この図書館がいろいろな世界につながる扉になれるようにたくさんの本を紹介したいと思っています。よろしくお祈いします。

保護者の皆様へ

☆三者懇談期間中(4/24～28)、家族貸出を実施します

令和2年の12月から実施し、多くの保護者の皆様にご利用いただいています。

お子さんと本を話題にして会話を弾ませていただけたらと思います。

生徒のみの利用時間は、放課後15分程度。家族での利用時間は、14:00～16:20までです。

- ・保護者の方は5冊まで借りられます。
- ・お子さんが、カードを持っていなくても借りることができます。
- ・お子さんが本を延滞している場合は借りられません。
- ・貸出期間は、通常通り2週間です。お子さんを通じて返却をお願いします。
- ・滞在時間は15分以内をお願いします。

《家族貸出実施の記録のために》

- ・生徒または保護者のお名前の記入をお願いします。

“家読
キャンペーン”
家族で本を
読む時間を!

☆生駒市電子図書館でブックリストを公開しています

生駒市図書館は、インターネットや電話で本を予約し、それを窓口で受け取ることができます。

また、生駒市電子図書館でブックリストの公開をしています。

(<https://web.d-library.jp/ikoma/g0101/top>)のサイトから「中学生よもよもガイド」や、「いい本みつけた!」の内容を見ることが出来ます。

新刊の紹介(4/3～)

分類	書名	著者	内容
0:総記	知的創造の条件 AI的思考を超えるヒント	吉見俊哉	自分でできる知的創造の方法から、それを支える社会的な仕組みまでを論じ尽くした渾身の書
2:歴史	「ヒロシマ消えたかぞく」のあしあと	指田和	あの日、戦争で、原爆で、途絶えたあひあと。そのあしあとひとつひとつを追いかけて、消されたいのちを今につなぐノンフィクション。
4:自然科学	火星は…	スザンヌ・スレード文 千葉茂樹訳	太陽系の8つの惑星のひとつ。地球のとなり、太陽から4番目の惑星。火星の1年は、地球の687日にあたる。火星は…。
	ながめて見つけて脳活性!世界一美しいまちがいさがし	篠原菊紀	「まちがいさがし」は脳のワーキングメモリを鍛え、認知機能を高め脳の各部位も活性化します
	発達界限通信 ぼくたちは障害と脳の多様性を生きてます	横道誠	この世界はなんて生きづらいのかーぼくは地球外知的生命体なのかー
	地図記号のひみつ	今尾恵介	学校で習ったつもりだったが、実は知らないことだらけ
7:スポーツ	誰でも上達する水泳	佐々木祐一郎	速く、長く、ラクに驚くほど進むようになる!!
9:文学	昔話法廷	NHKEテレ「昔話法廷」制作班 編	三匹のこぶたは「殺人罪」か「正当防衛で無罪」か?あなたが裁判員ならどうする?
	昔話法廷 Season 2	NHKEテレ「昔話法廷」制作班 編	舌切りすずめは「殺人未遂罪」で有罪か?無罪か?
	昔話法廷 Season 3	NHKEテレ「昔話法廷」制作班 編	『さるかに合戦』の猿を死刑にするか?
	昔話法廷 Season 4	NHKEテレ「昔話法廷」制作班 編	『ブレーメンの音楽隊』のロバは強盗致傷罪で刑務所に?それとも執行猶予?
	ぼくたちのスープ運動ー小さな思いやりが世界を変える!ー	ベン・ディヴィス作/ 渋谷弘子訳	ママが持たせてくれた温かいスープをホームレスの人にあげたことから、どんどん運動が広がって…それがいつしか、大切な人とかわした約束を守ることにつながっていきます。
	新ドリトル先生物語 ドリトル先生ガラパゴスを救う	福岡伸一	本家ドリトル先生シリーズへの敬意をこめてつづる、完全オリジナルストーリー!さあ、ドリトル先生と、冒険の旅へ出発!
	メイドイン十四歳	石川宏千花	ナチュラルボーン優等生が透明人間となかよく学校生活!?ぐらつく日常を送るぼくらのための、あざやかな十四歳の黙示録!
最初の質問	詩:長田弘 絵:いせひでこ	今日、あなたは空を見上げましたか。	

〈おすすめの本〉

『最初の質問』 詩・長田弘 絵・いせひでこ

短い質問が次々と問いかかけられます。決して難しい質問ではないのに、すぐに答えることができません。長田さんの紡ぎだす言葉が、いせさんの優しい絵によって包み込まれ、心に染み込んでいきます。慌ただしく過ぎていく毎日の中で、忘れてはいけない大切なものに気づかせてくれます。